

資産総額は 2,361 億 1 千万円  
負債総額は 830 億 9 千万円

# 貸借対照表で見る 河内長野市

市では、新地方公会計制度に基づいて、民間企業に準じた財務書類を作成しました。ここでは、平成 21 年度決算時点での貸借対照表の内容についてお知らせします。 問い合わせ 財政課

## 貸借対照表（バランスシート）（平成 22 年 3 月 31 日現在）

貸借対照表は、どのような資産を保有しているかと、その資産がどのような財源で賄われているかを示した表です。左右の合計額がそれぞれ天秤のようにバランスをとっていることなどから、バランスシートと呼ばれます。※（ ）内は前年度比較

◆資産 2,361 億 1 千万円  
(△ 12 億 6 千万円)

市が保有している土地や建物など、行政サービスを提供するための資産や債務返済の財源などの総額



### 【内訳】

公共資産 2,178 億 3 千万円  
道路、公園、学校など (△ 16 億 5 千万円)

投資など 71 億 7 千万円  
基金、積立金、出資金など (△ 5 億 1 千万円)

流動資産 111 億 1 千万円  
現金・預金、未収金など (9 億円)

◆負債 830 億 9 千万円  
(△ 11 億 4 千万円)

将来の世代が負担する借入金（市債）などで、返済が必要な債務の総額



◆純資産 1,530 億 2 千万円  
(△ 1 億 2 千万円)

現在までの世代がすでに負担し、将来の世代が返済する必要のない正味価値の総額



合計 2,361 億 1 千万円  
(△ 12 億 6 千万円)

合計 2,361 億 1 千万円  
(△ 12 億 6 千万円)

### ◎純資産比率について◎

今まで市が整備してきた道路や学校などの公共資産を含めた資産に対し、現在までの世代が負担した割合を純資産比率といいます（平均的な数値は 60～70%▷前年度は 64.5%）。この数値が大きいほど、将来への負担割合は低いと言えます。

純資産 1,530 億 2 千万円  
資産合計 2,361 億 1 千万円  
 $\frac{1,530}{2,361} \times 100 = 64.8\%$

※平成 21 年度財務書類の詳細は、市ホームページにも掲載しています。

負債については、返済期日前に借金（市債）の一部を返済したことにより減少しています。その結果、これからの市民が負担する将来負担が軽減されました（左表参照）。少子高齢化時代を背景に、税収が減少し財源が限られています。市では、資産と債務の適正な管理と、より一層の整理を進めることで、健全な財政経営を行っていきます。

### 貸借対照表を読む

健全な財政経営に向けて

資産については、道路をはじめとした建設事業による資産の増加がありました。施設の老朽化により全体の価値は低下しています。